当初予算書
159P

事業名	【継続】 新エネルギー等研究調査事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
1,430				1,430	
事業期間	令和5年度～			総事業費	

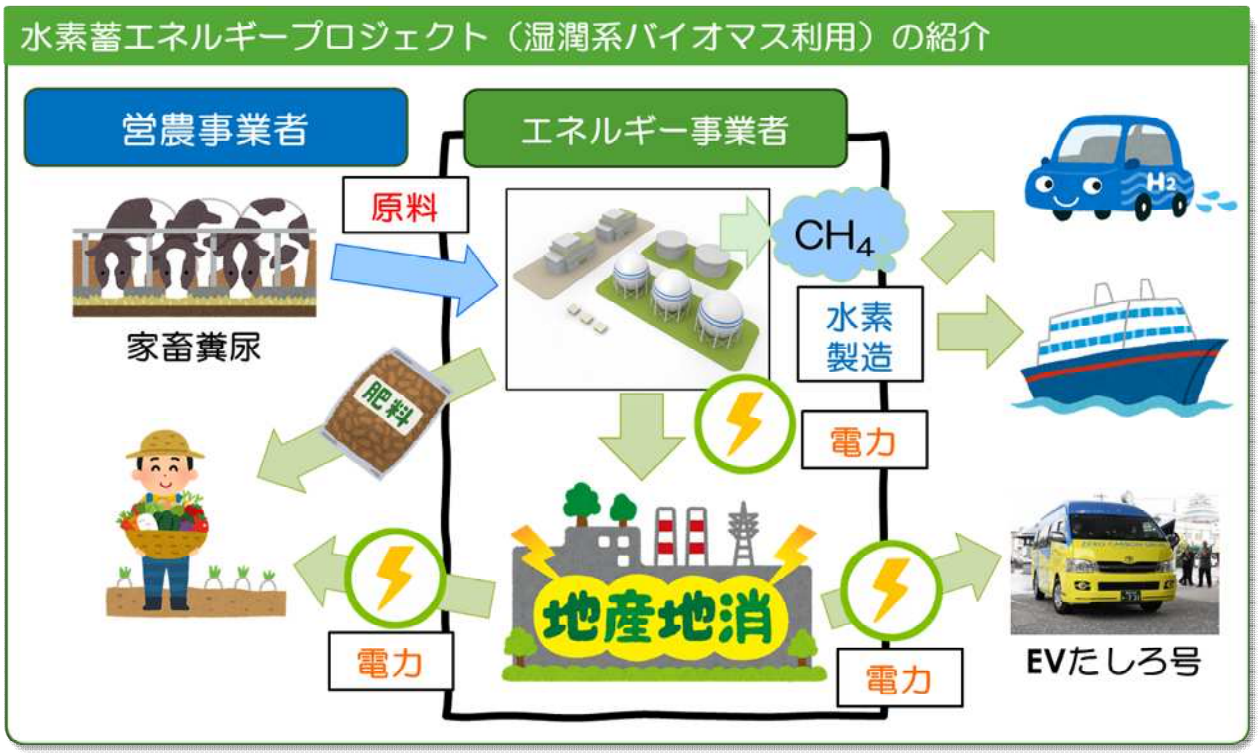
【事業目的】

地球温暖化対策については、2050年の脱炭素社会（カーボンニュートラル）実現に向け、令和５年度にゼロカーボンシティを宣言し、併せて長崎総合科学大学との連携協定を締結し、様々な施策を実施しています。

その一環として「島原水素蓄エネルギープロジェクト」研究会を開催し、バイオマス発電等の本市の特性を活かした再生可能エネルギーの利活用や導入可能性にかかる調査研究に産官学金が一体となって取り組みます。

【事業概要】

長崎総合科学大学との連携協定の枠組みを活用しながら、様々なステークホルダーによる「島原水素蓄エネルギープロジェクト」の研究会を開催し、本市の再生可能エネルギー導入や、公共施設等への利活用等について調査研究を行い、将来的なプロジェクトロードマップを策定します。



科目	4款	1項	2目	目名称	環境衛生費	環境課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記概要と同じ	上記概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
159P

事業名	【継続】 ゼロカーボンシティ推進事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
16,257		16,000			257
事業期間	令和5年度～			総事業費	

【事業目的】

令和５年度に本市が表明した「島原市ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、2050年度脱炭素社会実現に向けて、市民・事業者・行政が一体となって様々な地球温暖化対策に取り組みます。

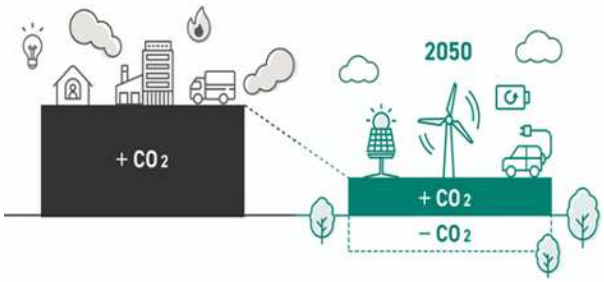
【事業概要】

■市民や市職員を対象とした周知啓発等　106千円

・講演会、セミナー等の開催、イベント出展

■島原市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の推進及び進捗管理　151千円

・庁内推進委員会、外部委員による会議の開催



■島原市地域脱炭素に向けた重点対策加速化事業費補助金　16,000千円（県補助10/10）

≪県が市町と一体で取り組む重点対策加速化事業≫

自家消費型太陽光発電施設と蓄電池を整備するとことによって、再エネ由来電力の有効活用を図り、エネルギー自給率を向上させるとともに、原油価格高騰対策、地域のレジリエンス向上につなげます。

【補助単価（個人設置型）】

・太陽光設備：70千円/kW

・蓄電池：蓄電池の価格（円/kWh）の1/3

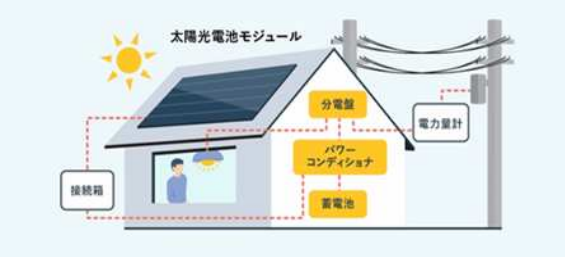
【補助単価（民間事業者設置型）】

・太陽光設備：50千円/kW

・蓄電池：蓄電池の価格（円/kWh）の1/3

※個人、民間事業者ともに補助額（太陽光設備＋蓄電池設備）上限800千円

※蓄電池のみの導入は対象外



科目	4款	1項	2目	目名称	環境衛生費	環境課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記概要と同じ	上記概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
163P

事　業　名	【継続】 しまばら斎場火葬炉設備更新事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
19,900			19,900		
事業期間	令和8年度			総事業費	

【事業目的】

しまばら斎場は平成１７年の供用開始から２１年が経過し、施設の長寿命化を図るため設備の改修、修繕等を計画的に実施します。

【事業概要】

火葬炉耐火煉瓦や火葬台車耐火物についても使用に伴う亀裂や欠損が見られることから耐火物の更新を行います。また、火葬炉を制御する電子機器である制御盤についても、供用開始から21年と相当年経過していることから更新を行います。

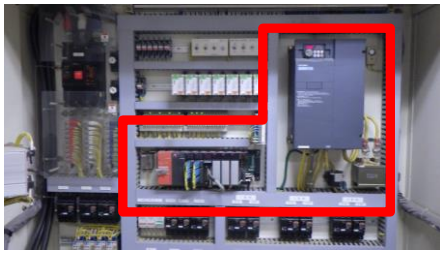
【火葬炉耐火物】

火葬炉設備更新
（耐火煉瓦修繕、フレームコーン・熱電対・燃焼空気圧指示計交換）

【火葬台車耐火物】

火葬台車耐火物更新

【制御盤更新】



火葬炉設備制御盤更新

科目	4 款	1 項	3 目	目名称	火葬場・墓地管理費	環境課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	平成17年4月に供用を開始し、平成26年度からは熱交換機や火葬炉耐火物の改修を計画的に行っている。	火葬炉設備更新 火葬台車耐火物更新 火葬炉設備制御盤更新	―

当初予算書
165P

事業名	【継続】 シルバー健康づくり支援事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3,346				3,296	50
事業期間	令和7年度～			総事業費	

【事業目的】

プール運動は、高齢者にとって、体に過度な負担をかけずに筋力アップや脂肪の燃焼、リラックス効果を得られるなど、さまざまな健康効果を期待できる運動です。

高齢者がプールを利用し、生涯を通じて気軽に楽しく「心」と「体」の健康づくりに取り組んでもらい、介護予防や健康寿命の延伸を図る目的で、高齢者のプール使用料の一部を支援します。

また、健診（検診）を受診してもらうことで、病気の早期発見、早期治療及び健康意識の啓発を図ります。

【事業概要】

下記の対象者への市内プール使用料を半額助成します。

■対象者

1　市内に住所を有する65歳以上の人

2　前年度または本年度に特定健診・後期高齢者健診(人間ドック・事業者健診含む)またはがん検診を受診した人

■内容

対象者は健診(検診）受診結果を窓口(本庁、有明支所、島原・有明保健センター)に持参し、受診の確認後、登録証を発行します。登録証の発行を受けた人は、プール窓口に登録証を提示し、使用料の半額で利用ができます。

■対象施設

島原市温水プール及び島原市有明プール

■使用料

島原市温水プール　２２０円/２時間、島原市有明プール　１５０円/２時間

【参考】通常のプール使用料
島原市温水プール　４４０円/２時間、島原市有明プール　３００円/２時間

【利用の流れ】

健診（検診）を受診する → 受診結果と本人確認書類を市窓口へ持参する → 登録証を受け取る → プールの窓口へ登録証を提示 → 通常料金の半額で利用

科目	4款	1項	4目	目名称	健康対策費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	令和7年11月より事業開始	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
165P

事業名	【継続】 予防接種事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
168,765		3,478		9,000	156,287
事業期間	昭和23年度～			総事業費	

【事業目的】

乳幼児や高齢者がかかる病気で最も多いのが感染症です。

予防接種法に基づき予防接種を行うことで、伝染の恐れがある疾病の発生及びまん延を予防します。

【事業概要】

予防接種の意義や予防接種の種類、受ける期間、予防接種を受けるに当たって注意すべき事項等、対象者に通知及び周知を行います。

・定期予防接種Ａ類疾病は無料、Ｂ類疾病は接種費用の一部を助成します。

・任意接種（小児インフルエンザ）の一部助成を実施します。

【フロー図】

ワクチンの接種で病気を予防し、子どものすこやかな成長と高齢者等の健康的な生活を支援します。

定期予防接種 【A類疾病】
（無料）
・ロタウイルス感染症
・B型肝炎
・小児の肺炎球菌感染症
・五種混合
（三種混合、二種混合、ヒブ感染症、不活化ポリオ含む）
・BCG
・麻しん風しん混合
・水痘
・日本脳炎
・子宮頸がん
・RSウイルス感染症（新規）

定期予防接種 【B類疾病】
（一部助成）
・帯状疱疹
・高齢者の肺炎球菌感染症
・高齢者インフルエンザ
・新型コロナウイルス感染症

任意予防接種
（市独自の事業：一部助成）
・小児インフルエンザ
（生後6か月～中学生）

科目	4款	1項	4目	目名称	健康対策費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
165P

事業名	【継続】 救急医療対策在宅当番医制事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
5,543				5,543	
事業期間	昭和60年度～			総事業費	

【事業目的】

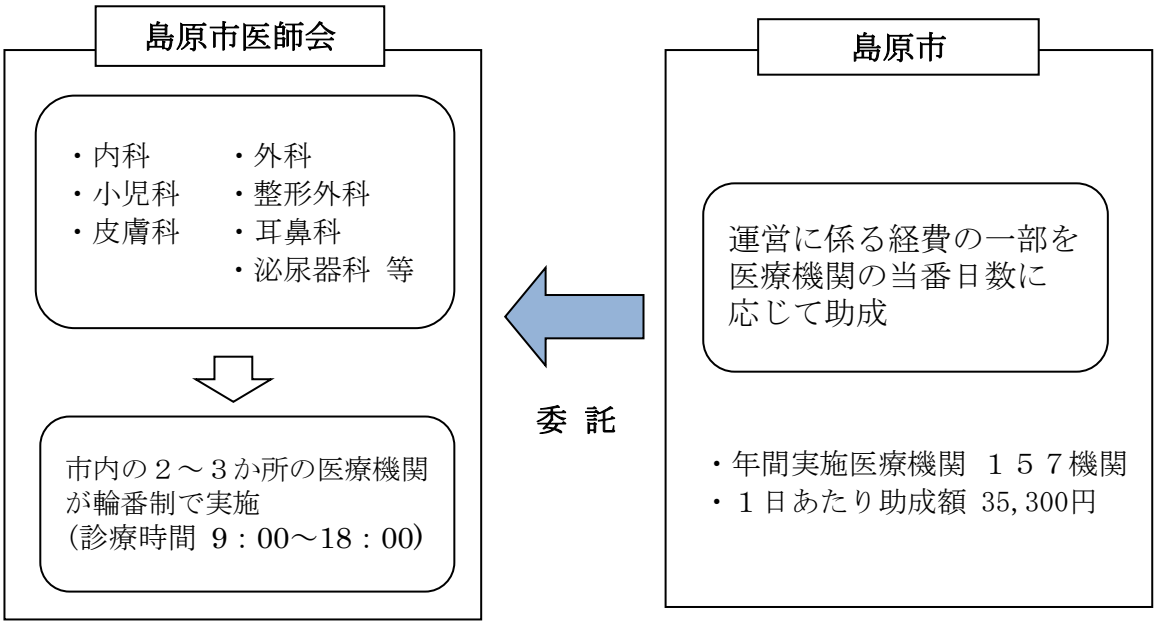
市民の安心確保と健康保持を図るため、島原市医師会の協力を得て、日曜、祝日、年末年始における初期救急患者の医療について、医療機関の輪番制により外来診療を行います。

【事業概要】

各医療機関の当番日の調整及び実施を一般社団法人島原市医師会に委託し、運営にかかる経費の一部を助成します。

（１実施医療機関につき、１日あたり３５，３００円）

【フロー図】



科目	4款	1項	4目	目名称	健康対策費	福祉課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ （１日あたり34,600円）	上記事業概要と同じ （１日あたり35,300円）	引き続き実施予定

当初予算書
167P

事　業　名	【継続】 小児の休日診療事業				
当初予算額	財源内訳　（単位：千円）				
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
23,174				23,174	
事業期間	平成23年度～			総事業費	

【事業目的】

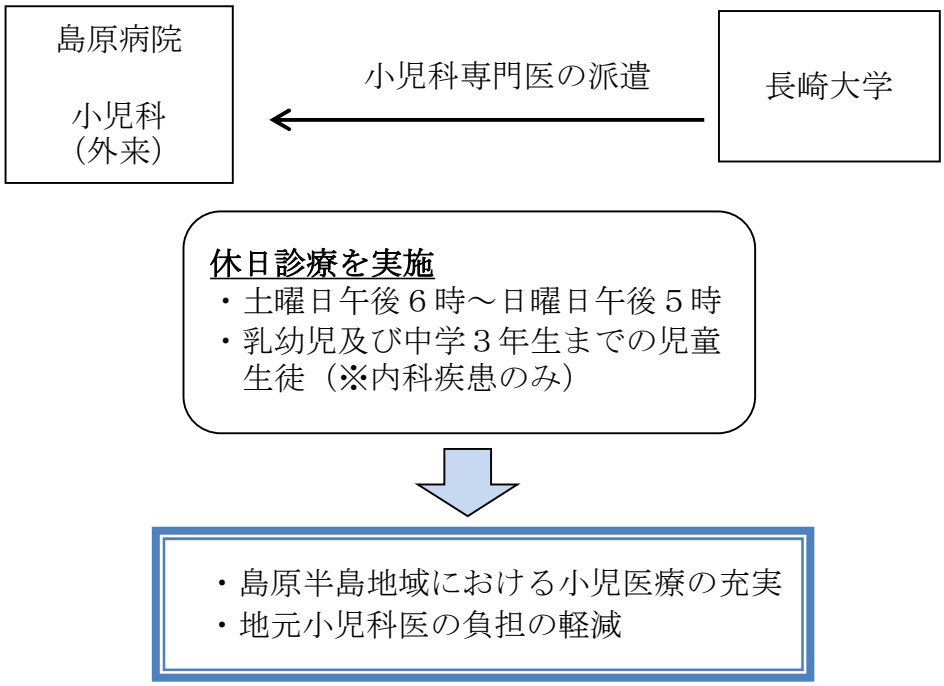
長崎大学から小児科専門医の派遣を受けて島原病院内で「小児の休日診療事業（土曜日午後６時～日曜日午後５時）」を行うことで、島原半島地域における小児医療の充実を図るとともに、小児医療機関の減少や高齢化が進み疲弊が懸念される地元小児科医の負担を軽減します。

【事業概要】

《事業主体》　島原市、雲仙市、南島原市、島原市医師会、南高医師会が共同で実施（運営は島原市医師会に委託）

平成２３年度～２７年度　長崎県地域医療再生基金を活用（県補助１０／１０）
・平成２７年度で基金事業終了。他の補助事業活用を模索するも、該当制度なし。

平成２８年度～　一般財源で対応
・半島三市で過去３年間の受診者割合に応じて負担し、他の二市から負担金を受け入れる。



科目	4 款	1 項	4 目	目名称	健康対策費	福祉課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
167P

事　業　名	【継続・人口減少対策】 長崎県病院企業団運営事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
145,966				50,000	95,966
事業期間	平成21年度～			総事業費	

【事業目的】

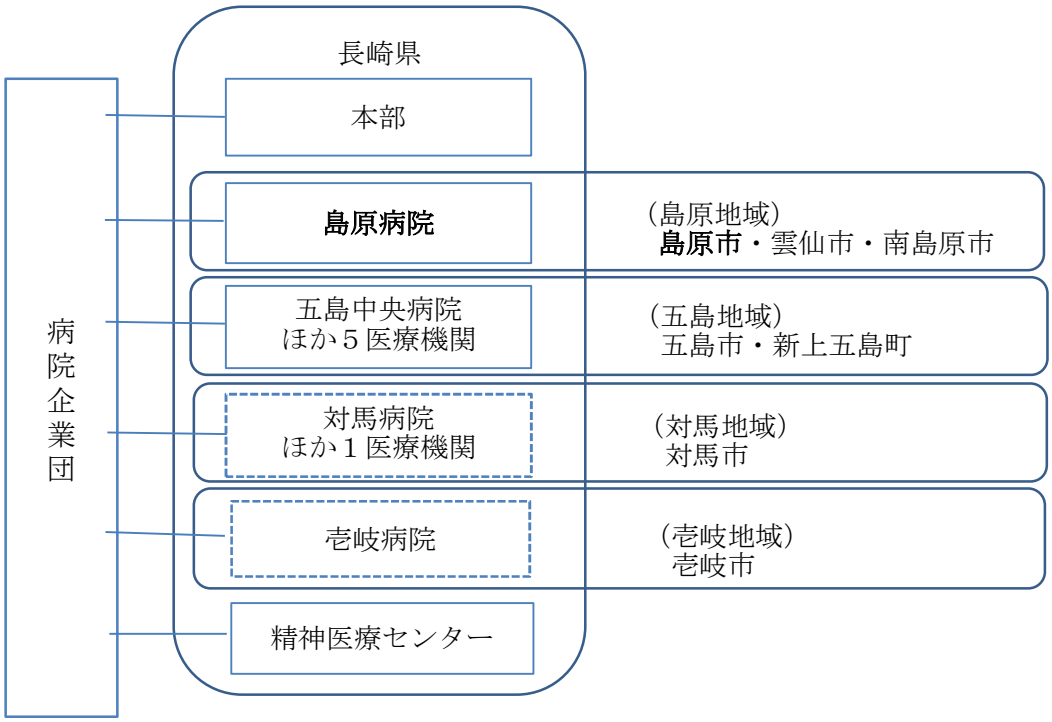
長崎県病院企業団は、地域の継続的かつ安定的な医療確保のため、長崎県と関係５市１町が地方公営企業法を全部適用した一部事務組合（企業団）として平成２１年４月１日に設立、平成２７年４月１日から壱岐市が新たに加入し、各地域における基幹病院等の運営を行っています。

企業団による効率的な運営により、医師の確保をはじめ各地域の医療機能の維持・充実と経営基盤の強化を図ります。

【事業概要】

長崎県島原病院の運営にかかる経費を長崎県と島原半島三市で、長崎県病院企業団本部の運営経費を長崎県と構成市町で負担します。

負担割合は、長崎県病院企業団構成団体負担要綱に基づき算出されます。
（県１／２、半島三市１／２）



科目	4 款	1 項	4 目	目名称	健康対策費	福祉課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
167P

事　業　名	【継続】 歯科休日診療当番医制補助金				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
297					297
事業期間	平成22年度～			総事業費	

【事業目的】

日曜、祝日、年末年始における急な口腔疾患や傷病に対し、安心して適切な医療を受けられるよう、島原南高歯科医師会が実施している輪番制による休日診療制度について、運営に必要な経費の一部を補助します。

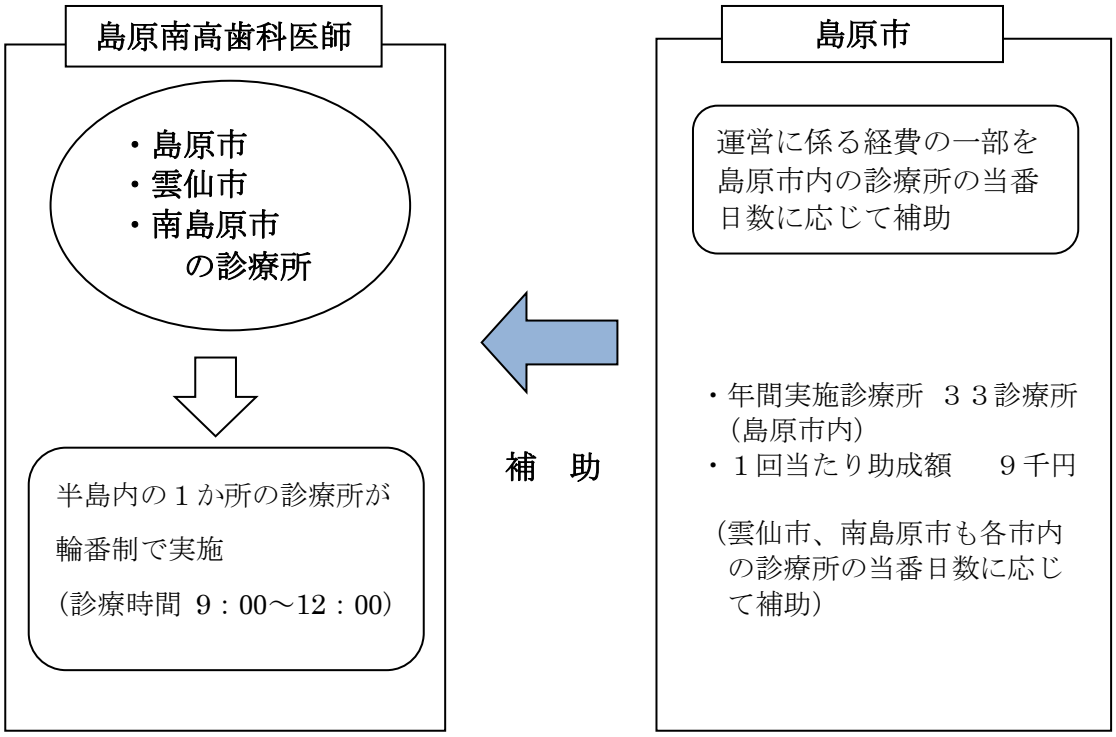
【事業概要】

《事業主体》　島原市（雲仙市、南島原市でも実施）

・島原半島内において、通常の休日は１カ所のみ、年末年始など繁忙期のみ２カ所の診療所が輪番制で休日診療を実施し、運営にかかる経費の一部を島原市内の診療所の当番日数に応じて補助します。

（補助単価：１実施診療所につき、１日あたり９千円）

（当番診療所が雲仙市、南島原市の場合は、島原市と同一内容で各市が補助）



科目	4 款	1 項	4 目	目名称	健康対策費	福祉課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ （1日当たり5,000円）	上記事業概要と同じ （1日当たり9,000円）	引き続き実施予定

当初予算書
167P

事　業　名	【継続・人口減少対策】 病院群輪番制病院運営事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
15,628				10,324	5,304
事業期間	昭和53年度～			総事業費	

【事業目的】

休日及び夜間における入院治療を必要とする重症救急患者の医療について、島原半島内の病院群が共同連帯して、輪番制方式により初期救急医療施設からの転送患者や救急搬送患者の受け入れを行い、市民の安心確保と健康保持を図ります。

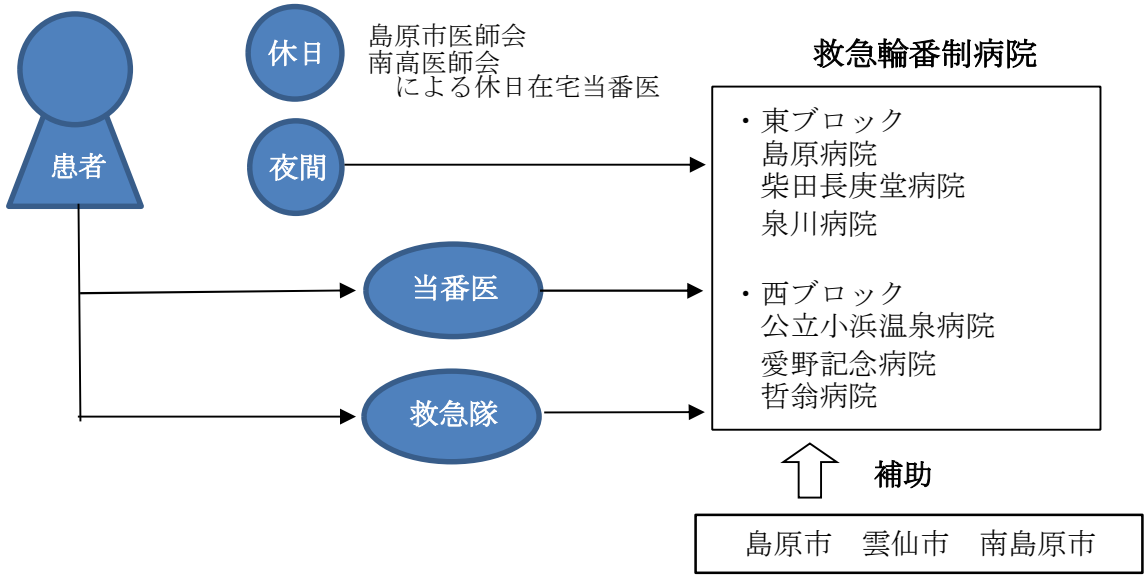
【事業概要】

・実施医療機関は６機関
　東ブロック（島原病院、柴田長庚堂病院、泉川病院）
　西ブロック（愛野記念病院、公立小浜温泉病院、哲翁病院）

・島原病院を除く５医療機関の輪番制運営にかかる経費の一部について、医療機関の当番日数に応じて三市で補助します。

※ 補助単価 ： ７１，０４０円×０．３３３３×実施日数
※ 三市の負担割合 ： 均等割 ３０％、人口割 ７０％

・三市は２年ずつ輪番で事務局を受け持ち、事務局となった市が他の二市から負担金を受け入れ、医療機関へ補助金として支出します。
令和８年度、９年度は島原市が事務局となります。



科目	4 款	1 項	4 目	目名称	健康対策費	福祉課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
167P

事　業　名	【継続】 島原地域小児医療研究室寄附金				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
5,396				5,396	
事業期間	平成26年度～			総事業費	

【事業目的】

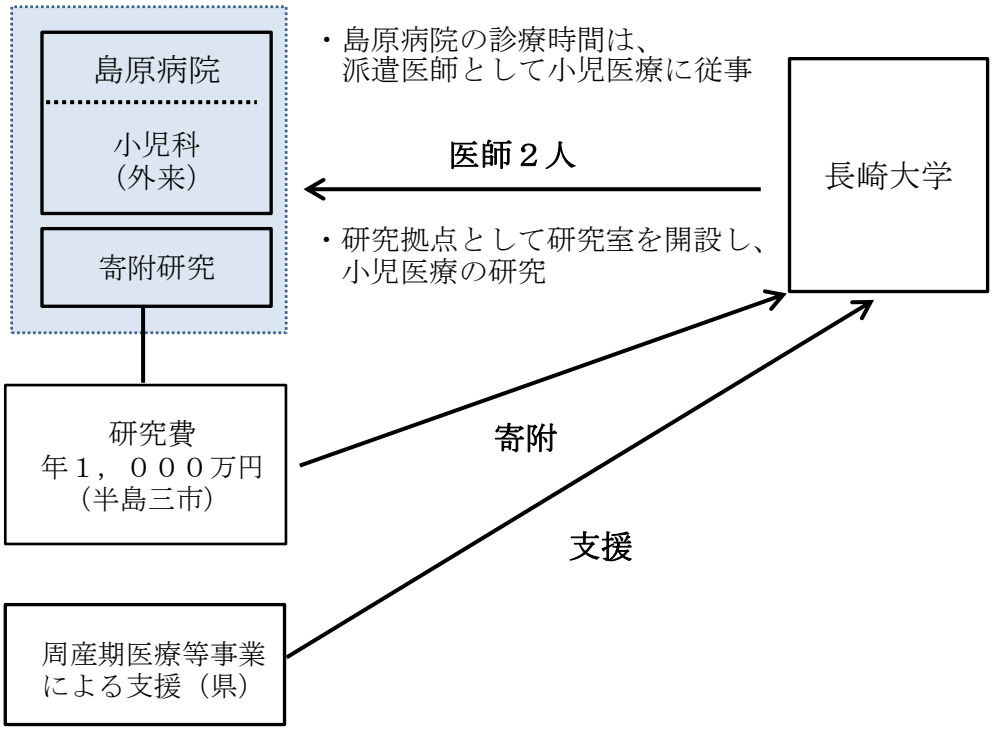
長崎県及び島原半島三市の寄附により、平成２６年４月に長崎大学が島原病院を研究拠点として「島原地域小児医療研究室」を開設し、研究に従事する２人の小児科専門医が島原病院の小児科診療に従事することにより小児科が再開されました。

引き続き寄附を行い、安定した小児医療提供体制の確保を図ります。

また、小児医療の研究・教育活動が行われることにより小児医療の向上が図られます。

【事業概要】

長崎大学から２人の小児科医師を島原病院に配置し、島原地域の小児医療の研究・教育活動を行うとともに、島原病院の小児科での診療を行います。



科目	4 款	1 項	4 目	目名称	健康対策費	福祉課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

事業名	【継続】健康増進事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
15,495		668		2,504	12,323
事業期間	平成20年度～			総事業費	

【事業目的】

市民の健康増進を目指して、健康づくりの講座や健康相談を実施するとともに、運動普及サークル等の育成を行います。

また、関係団体等との連携により地域ぐるみで市民の健康づくりを推進します。

【事業概要】

	目的	実施内容
①健康教育	○健康に関する知識の普及	・生活習慣病予防教室 ・運動教室 ・栄養教室 ・市民ウォーキング ・集団健康教育
	○健康づくりを推進する団体の育成支援	・ウォーキングサークル ・スクエアステップサークル
②健康相談	○心身の健康に関する相談・病気の予防	・健康相談（保健師・栄養士） ・骨粗鬆症予防栄養相談
③訪問指導	○生活習慣病予防・介護予防・家族介護支援	・訪問指導（保健師・栄養士）
④健康手帳の交付	○健康管理	・健診（検診）や血圧等の記録及び自己管理

【市民ウォーキング】
さくらウォーキング

【運動（ステップ）教室】

科目	4款	1項	4目	目名称	健康対策費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
167P

事業名	【継続】人間ドック・脳ドック事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
14,005				14,005	
事業期間	平成11年度～			総事業費	

【事業目的】

人間ドック及び脳ドック健診を実施することにより、健康状態のチェックを行い、生活習慣病を始めとする病気や異常の早期発見・早期治療につなげます。

【事業概要・フロー図】

≪対象者≫４０歳以上の市民(脳ドックについては後期高齢者医療被保険者を除く)

人間ドック

●市内人間ドック＜市内指定9医療機関で受診＞

【 実施時期 】６月～３月　【 自己負担金 】あり

◇ 半日コース　【 定 員 】　40人

健診項目（問診、身長･体重･腹囲・視力･聴力・血圧測定、内科的診察、血液検査、便潜血検査、尿検査、胸部ｴｯｸｽ線検査、心電図、骨粗鬆症検査、結果生活指導、医師の判断による選択検査として肝炎ｳｲﾙｽ関連検査、腫瘍ﾏｰｶｰ検査）

◇ １日コース　【 定 員 】　165人

健診項目（半日コース＋腹部超音波検査、胃部ｴｯｸｽ線検査または胃内視鏡検査）

●市外人間ドック＜市外指定３医療機関で受診＞

【 募集時期 】　５月　【 自己負担金 】　あり

【 定 員 】　190人　※前年度定員230人から40人削減

◇ 日帰りコース

◇ １泊２日コース

各医療機関で健診項目・オプション・自己負担額が異なる

脳ドック

●市内指定4医療機関

【 募集時期 】　５月

【 自己負担金 】あり

【 定 員 】220人

※前年度定員230人から10人削減

●標準検査項目

・診察・身体測定・血圧・脈拍
・脳MRI/MRA検査及び頸部MRA検査
・循環器系検査（心電図）
・腎機能検査（検尿）
・血液検査

＊医療機関によってオプションあり

生活習慣病を始めとする病気や異常を早期発見し、健康をチェックすることで、生活の改善に努めます

脳卒中は、死因や寝たきりの原因の上位を占め、認知症の原因ともなっているため、脳ドック受診により脳疾患の予防に努めます

科目	4 款	1 項	4 目	目名称	健康対策費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
169P

事業名	【継続】 検診事業				
当初予算額	財源内訳 (単位：千円)				
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
91,658	970	2,189		3	88,496
事業期間	昭和58年度～			総事業費	

【事業目的】

各種がん検診等を実施することにより、がん等疾患の早期発見・早期治療につなげ、また、がんの予防に関する知識の普及・啓発を行うことにより、市民の健康増進を図ります。

【事業概要】

○実施体制　集団検診は各検診の実施期間に各地区公民館等で実施
個別検診は市内の各医療機関にて実施

○周知方法　広報しまばら・市ホームページ、防災ラジオや市ＬＩＮＥ、市内各医療機関等へポスター等を掲示

検診名	対象者	受診方法・時期	自己負担金
肺がん検診	40歳以上	集団検診（6～7、9、11、2月）	無料
		個別検診（8～11月）	600円
胃がん検診	40歳以上	集団検診（9、2月）	600円
		個別検診（5～3月）	1,200円
大腸がん検診	40歳以上	個別検診（6～3月）	600円
子宮がん検診	20歳以上の女性	集団検診（9、2月）	500円
		個別検診（4～3月）	頸部　800円
			頚体部 1,100円
乳がん検診	40歳以上の女性	集団検診（9、2月） 個別検診（4～3月）	600円
	30歳以上の女性		
骨粗鬆症検診	40・45・50・55・60・65・70歳の女性	集団検診（9、2月）	400円
肝炎ウイルス検査	40歳以上（未受診者のみ）	集団・個別検診（特定健診と同時実施）	無料
前立腺腫瘍マーカー検査（ＰＳＡ検査）	40歳以上	集団・個別検診（特定健診と同時実施）	無料
健康診査	40歳以上の生活保護者	集団・個別検診（特定健診と同時実施）	無料

科目	4款	1項	4目	目名称	健康対策費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
171P

事業名	【継続】介護予防事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
6,859				6,859	
事業期間	平成18年度～			総事業費	

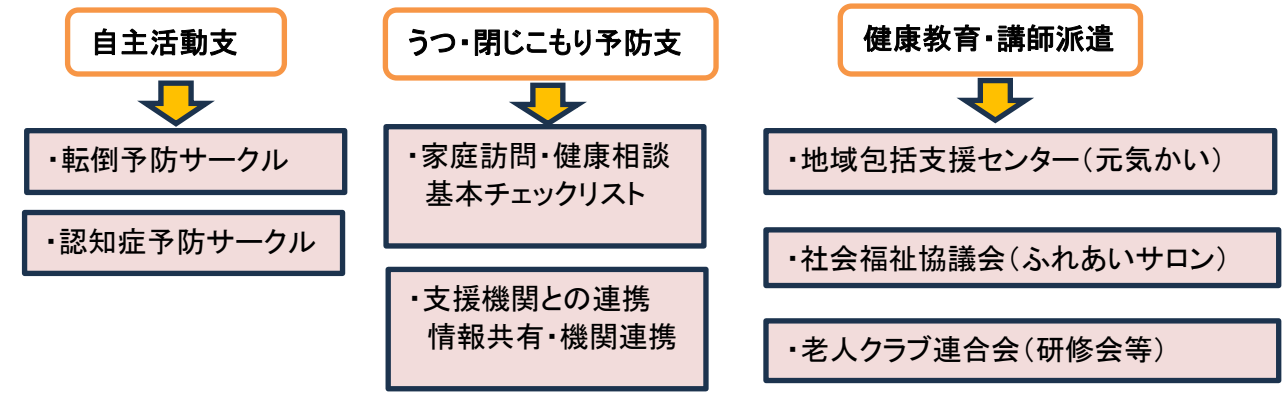
【事業目的】

住み慣れた地域でいきいきと元気に生活することができるよう、６５歳以上の市民を対象に、健康教育や健康相談を実施し、介護予防に関する知識の普及・啓発や地域における自主的な介護予防活動を支援します。

【事業概要】

６５歳以上の市民を対象として、市、島原地域広域市町村圏組合、島原市社会福祉協議会、島原地域包括支援センターが主催する通いの場への参加を促し、高齢者の寝たきり、認知症、病気、閉じこもりの予防を図ります。また、理学療法士や作業療法士等の専門職を派遣し健康教育や健康相談を実施して、高齢者の健康増進や介護予防への意識を高め、自主的な保健行動を促します。

【フロー図】



科目	4款	1項	4目	目名称	健康対策費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
171P

事業名	【継続】 食育推進事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
871		141			730
事業期間	平成29年度～			総事業費	

【事業目的】

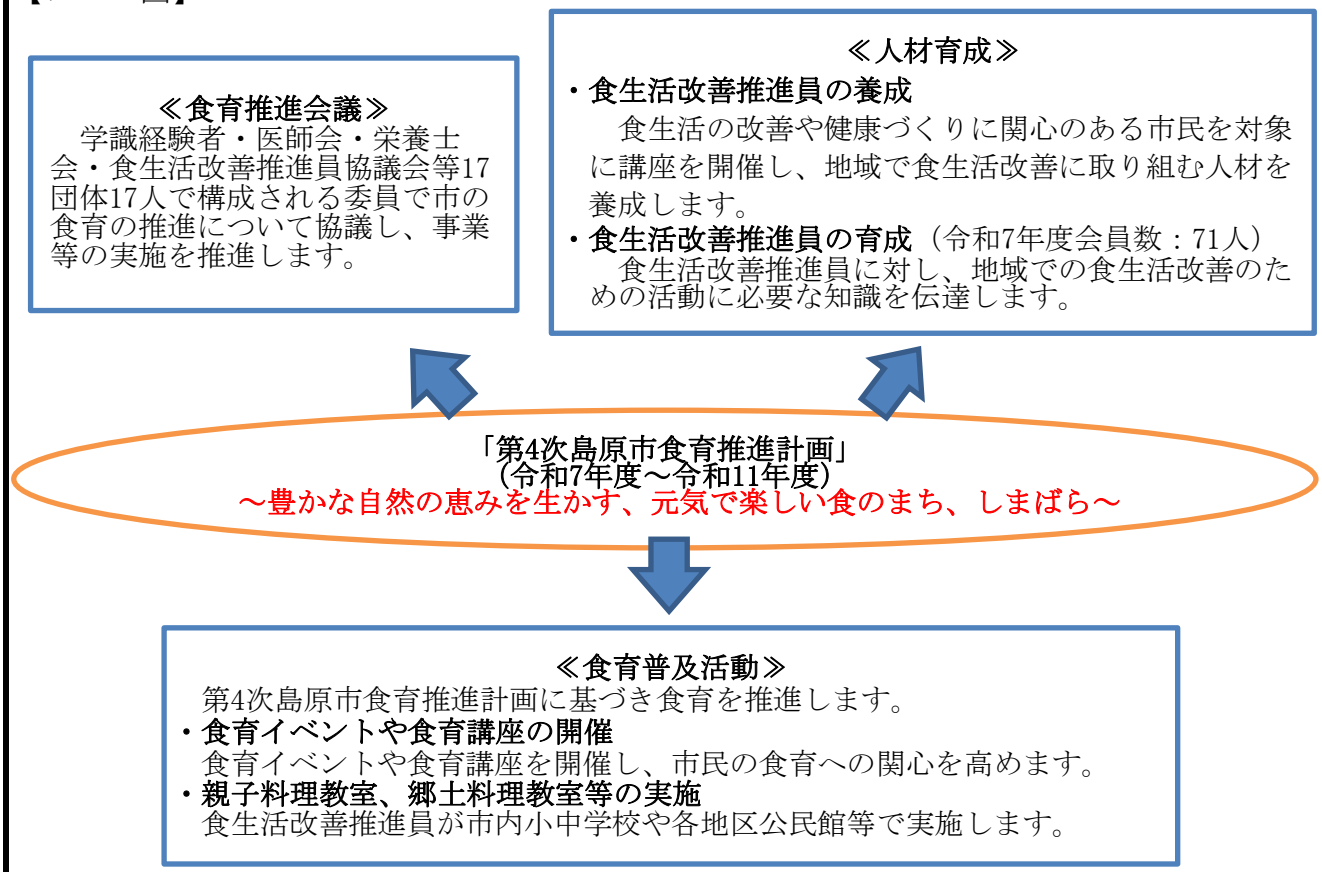
地域、学校、保育所・認定こども園、行政、その他の関係機関が連携して第4次食育推進計画を推進することにより、健康寿命の延伸と生活の質の向上を目指し、市民が健全な食生活を実現できるよう支援します。

【事業概要】

第4次島原市食育推進計画を推進するために、食育推進会議を開催します。

また、食育を普及するために、食生活改善推進員の養成・育成を行い、料理教室や食育イベント等を開催します。

【フロー図】



科目	4款	1項	4目	目名称	健康対策費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
171P

事業名	【継続】歯科保健事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
3,044		1,713			1,331
事業期間	平成18年度～			総事業費	

【事業目的】

歯科健康診査、歯科相談、フッ素塗布事業等を実施し、歯・口腔の健康づくり、むし歯・歯周予防対策を推進します。

【事業概要】

妊娠期から生涯を通して、歯・口腔の健康の保持・増進を図るために、各歯科健康診査、歯科相談、フッ素塗布事業、フッ化物洗口推進事業等を実施します。

●妊娠期●

【妊産婦歯科健診】
〈対象者〉妊婦及び産婦（各1回ずつ）
〈内　容〉歯科医院での歯科健診

【両親学級時等の歯科相談】
〈対象者〉　妊婦及びその夫
〈内　容〉　歯科衛生士による歯科相談

●乳幼児期●

【乳幼児歯科健診（母子健康診査に併設）】
〈健診名〉
1歳6か月児健診、3歳児健診
〈内容〉
歯科医師による診察、指導、健康教育、
歯科衛生士によるブラッシング指導

【フッ化物洗口推進事業】
〈対象者〉
保育所・認定こども園に通う年中児及び年長児
〈内容〉
各保育所・認定こども園で園歯科医師の
指導のもと実施

【個別フッ素塗布事業】
〈対象者〉満1歳～4歳になる誕生月の月末まで
〈内　容〉歯科医院でのフッ素塗布・ブラッシング指導（4回/人）
【集団フッ素塗布事業（母子健康診査に併設）】
〈健診名〉1歳6か月児健診、3歳児健診
〈内　容〉歯科衛生士によるフッ素塗布・ブラッシング指導

●成人期●

【成人歯科健診】
〈対象者〉20歳、30歳、40歳、50歳、60歳、70歳
〈内　容〉歯科医院での歯科健診

科目	4款	1項	4目	目名称	健康対策費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
173P

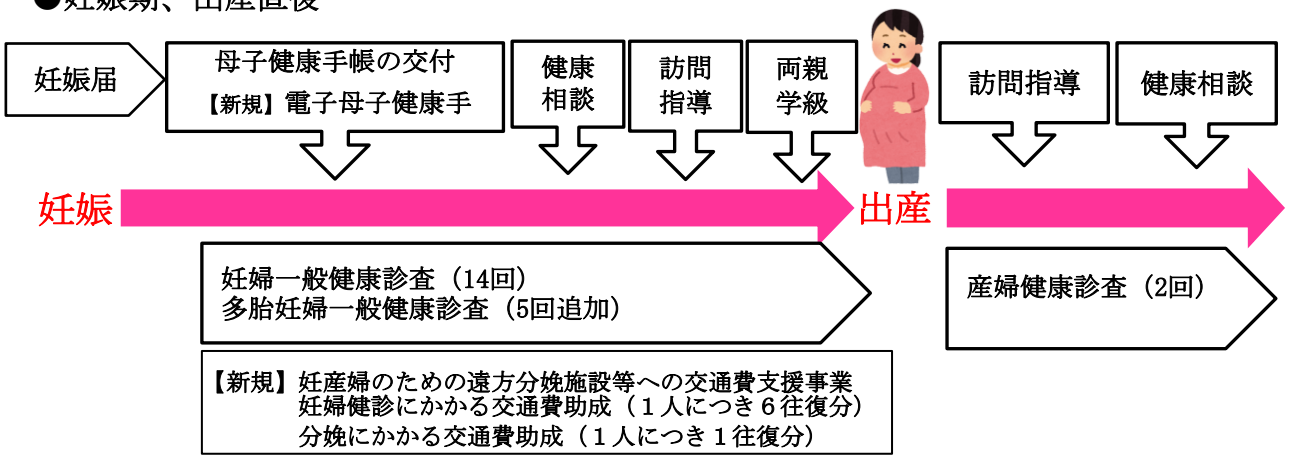
事　業　名	【拡充】 母子保健事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
42,840	5,355	1,901		30,987	4,597
事業期間	昭和40年～			総事業費	

【事業目的】

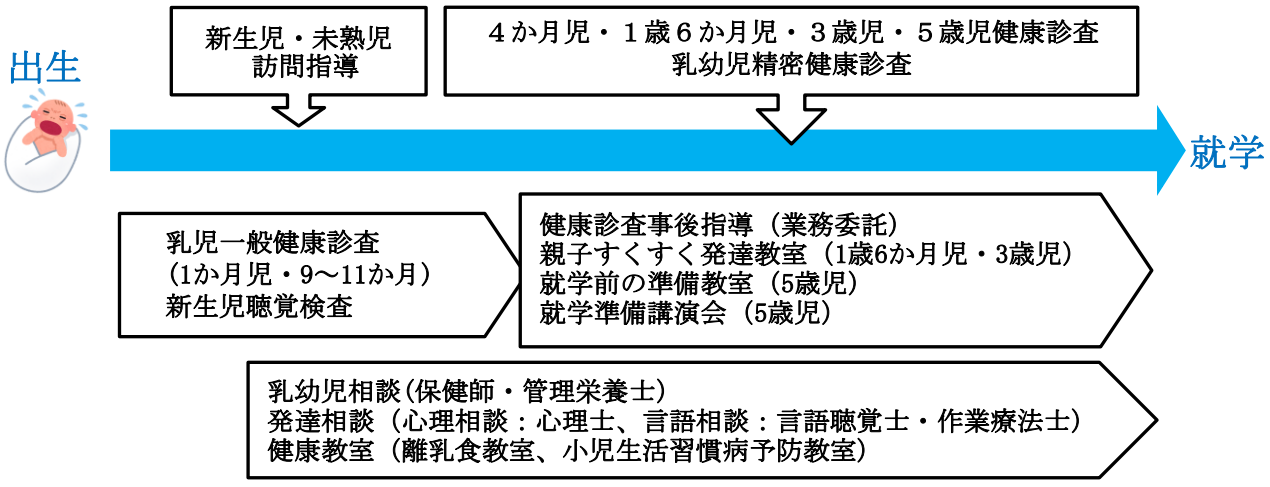
安心して妊娠、出産を迎えられるよう支援するとともに乳幼児の健康の保持増進を図るため、母子保健法及び発達障害者支援法などに基づき各種の母子保健事業を推進します。

【事業概要】

●妊娠期、出産直後



●乳幼児期



科目	4 款	1 項	4 目	目名称	健康対策費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
175P

事　業　名	【継続・人口減少対策】 いきいき健康ポイント事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
586				586	
事業期間	平成27年度～			総事業費	

【事業目的】

健康づくりに自ら取り組む意識を促すことで、健康づくりの習慣化を図り、生活習慣病等を予防するとともに知識の普及・啓発を図ります。

【事業概要】

20歳以上の市民を対象として、希望者にポイントカードを配付し、特定健診・がん検診等の受診、健康教室等への参加、市が推奨する自己目標メニューの実践等の取り組みに対しポイントを付与します。

50ポイントを達成しポイントカード提出した人へ参加賞を進呈、更に抽選で島原市の特産品を贈呈します。

ポイントカードを配布

↓

ポイントを貯める

≪ポイントのため方≫
①各種検診・健康診査を受診（必須）
→受診日、受診場所をカードに記録する
②健康教室・健康教育講座・介護予防教室等に参加
→参加時にカードにスタンプを押す
③市が推奨する自己目標メニューを実践
→自己目標を実践した日付をカードに記録する
（例）体重を測る、１日３０分以上の運動など

↓

50ポイントを達成し
ポイントカードを提出
全員に参加賞として記念品を進呈

○記念品（300円相当）…50ポイント達成者全員

○当選内訳　市長賞 …　３人（10,000円相当）
１　等 …　３人（ 5,000円相当）
２　等 … ５０人（ 3,000円相当）

↓

抽選会を実施
当選者へＳＱ商品の贈呈

科目	4 款	1 項	4 目	目名称	健康対策費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
175P

事　業　名	【継続・人口減少対策】 産後ケア事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
8,024	4,012	2,006			2,006
事業期間	平成30年度～			総事業費	

【事業目的】

産後の母子に対して、心身のケアや育児サポート等を行い、母体の体力の回復及び母体ケア並びに乳児ケアを実施するとともに、今後の育児に資する指導等を実施します。

【事業概要】

＜対象者＞

・産後１年未満の母子

＜事業内容＞医療機関等に委託して実施。

・宿泊型：宿泊による休養の機会の提供。

・デイサービス型：日中、産婦人科医院・助産所での支援。

・アウトリーチ型：自宅を訪問して保健指導・ケアを行う。

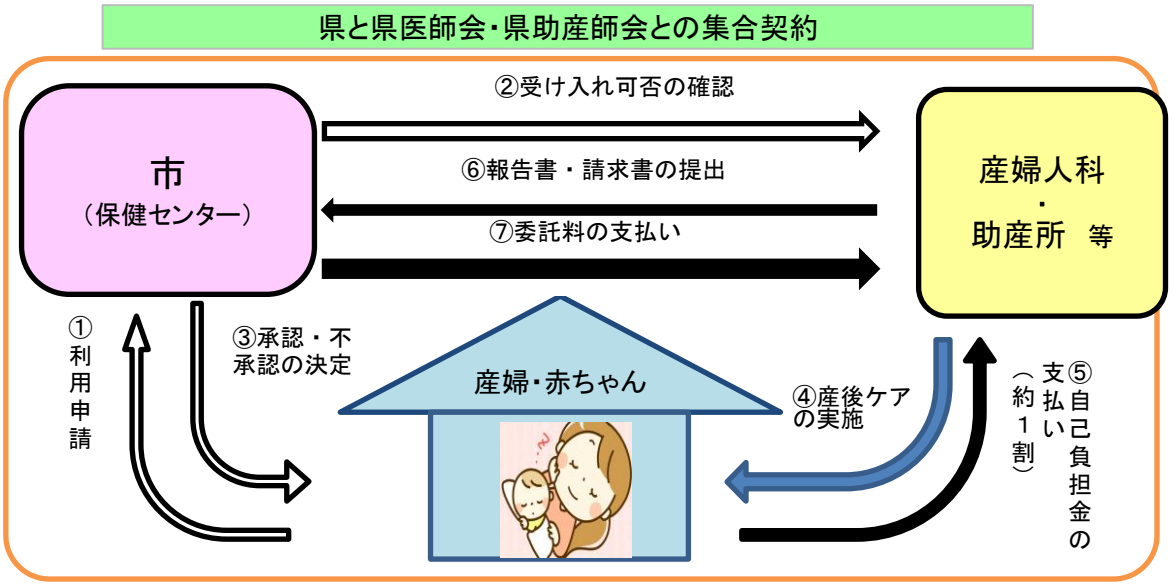
＜自己負担金＞　約１割

＜ケアの内容＞

①母親の身体的ケア・心理的ケア及び保健指導、栄養指導

②適切な授乳が実施できるためのケア（乳房ケアを含む）

③育児の手技についての具体的な指導及び相談　等



科目	4 款	1 項	目	目名称	健康対策費	保険健康課（保健センター）

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	上記事業概要と同じ	上記事業概要と同じ	引き続き実施予定

当初予算書
179P

事　業　名	【継続】 塵芥処理事業

当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国　費	県　費	地方債	その他	一般財源
1,119,775				41,900	1,077,875
事業期間				総事業費	

【事業目的】

一般家庭から排出される可燃ごみ、資源ごみ及び不燃ごみの収集と適正な処理を図るとともに再資源化を推進します。

塵芥処理事業費　　1,119,775千円

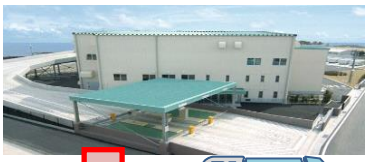
【事業概要】

ごみ収集業務
・島原市内の一般廃棄物の収集運搬業務を民間事業者に業務委託
・可燃ごみ　週2回収集、　資源ごみ・不燃ごみ　月2回収集

可燃ごみ
可燃ごみ
収集委託経費
81,853千円

資源・不燃ごみ
缶、ビン、ペットボトル、プラ等
資源・不燃ごみ
収集委託経費　76,525千円

【中継（圧縮）】
東部リレーセンター



【処理】
県央県南広域環境組合
（県央県南ｸﾘｰﾝｾﾝﾀｰ）
負担金　840,227千円

燃焼処理

【中間処理（分別・梱包）】
島原リサイクルプラント等
（島原地域広域市町村圏組合）
・処理委託料　27,700千円
・負担金と施設使用料　45,488千円

再資源化

・再資源化

・再商品化

埋立処理

【廃品回収】
子ども会などの団体
報奨金等　1,000千円

【その他】
ごみ袋作成経費、ごみ袋販売委託料、クリーンボックス、消耗品費等　46,982　千円

科　目	4 款	2 項	2 目	目名称	塵芥処理費	環境課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	可燃ごみ収集（2回/週） 資源・不燃ごみ収集（2回/月）	可燃ごみ収集（2回/週） 資源・不燃ごみ収集（2回/月）	可燃ごみ収集（2回/週） 資源・不燃ごみ収集（2回/月）

当初予算書
181P

事業名	【継続】 し尿処理事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
172,953				9,460	163,493
事業期間				総事業費	

【事業目的】

市内の家庭や事業所等から排出されるし尿・浄化槽汚泥を適正に処理し、生活環境並びに自然環境の保全に努めます。

【事業概要】

前浜クリーン館は、1日に144kℓのし尿・浄化槽汚泥を処理できる能力を持ち、高負荷脱窒素処理方式に高度処理設備を付加した処理方式を採用し、水質、臭気などの公害防止や周辺の環境保全に万全を期した施設です。

また、処理過程で発生する汚泥を堆肥化する施設を備え、農地等への還元を図るなど、循環型の施設となっています。

●主な事業費

・消耗品費（薬品費など）	52,000千円
・燃料費（灯油代など）	10,201千円
・光熱水費（電気料金など）	59,487千円
・修繕料	3,172千円
・委託料（運転管理業務委託料など）	46,326千円

汚泥発酵肥料「しまばらん恵」
販売価格：90円（15kg/1袋）

前浜クリーン館

科目	4款	2項	3目	目名称	し尿処理費	環境課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	前浜クリーン館でのし尿・浄化槽汚泥の処理	前浜クリーン館でのし尿・浄化槽汚泥の処理	前浜クリーン館でのし尿・浄化槽汚泥の処理

当初予算書
181P

事業名	【継続】 前浜クリーン館設備更新事業				
当初予算額	財源内訳				（単位：千円）
	国費	県費	地方債	その他	一般財源
104,400			104,400		
事業期間				総事業費	

【事業目的】

前浜クリーン館の運転維持の為、機器更新を行って、施設の長寿命化を図るものです。

【事業概要】

前浜クリーン館は供用開始から９年を経過し、経年劣化に伴う設備の更新が必要です。当施設では、日々、し尿と汚泥の処理及び資源化を行っており、収集業者からの搬入量は運用当初の予定より増加しています。

今回更新工事を予定する機器は、水処理で最も重要な機器であり、故障の際には施設全体の停止に繋がるIZ循環ポンプをはじめ、推奨整備時期を経過しているポンプ類、その他水処理の主要を担う脱水機など消耗が激しく、いずれも現状を放置し運転停止となれば、島原市内のし尿及び浄化槽汚泥の処理ができなくなる恐れがあるため、更新工事を行います。

①破砕ポンプ

②し尿前処理機

③渦巻ポンプ

④電気浸透式脱水機

⑤消泡機

⑥造粒機

⑦沈砂洗浄設備

科目	4款	2項	3目	目名称	し尿処理費	環境課

事業計画	前年度まで	今年度	来年度以降
	前浜クリーン館の機器整備による長寿命化を図る	前浜クリーン館の機器整備による長寿命化を図る	前浜クリーン館の機器整備による長寿命化を図る